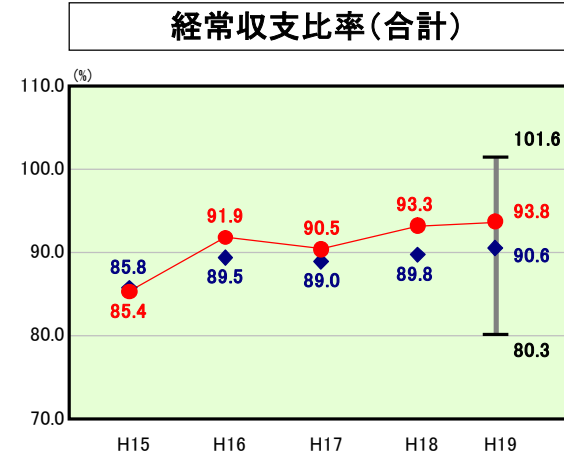


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 南関町

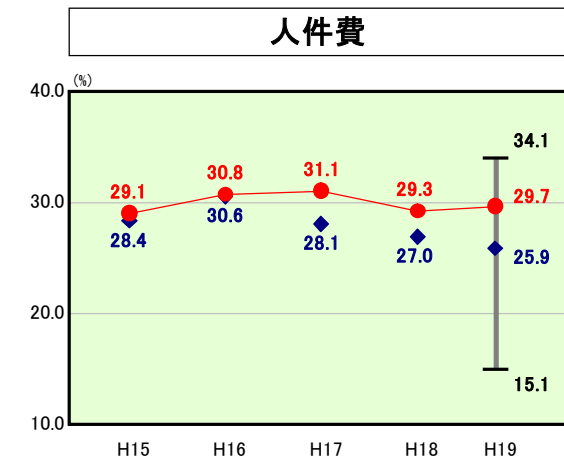
経常収支比率の分析



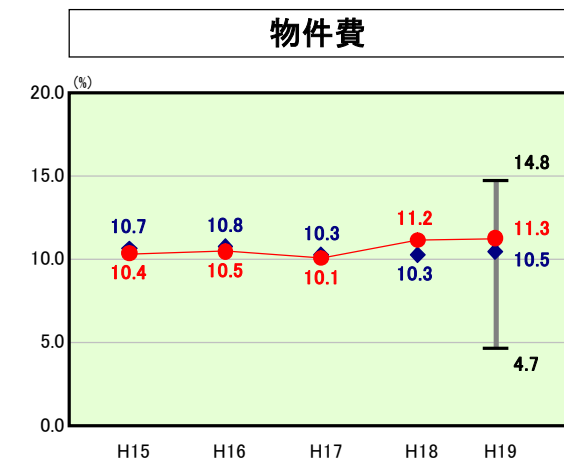
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▸
類似団体内最小値 ▾

人口	11,242人(H20.3.31現在)
面積	68.96 km ²
歳入総額	5,367,674千円
歳出総額	5,153,159千円
実質収支	206,794千円

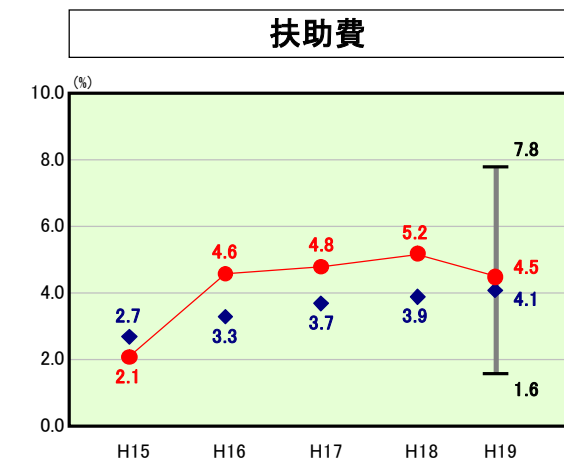
H19類似団体内順位 37/53
全国市町村平均 92.0
熊本県市町村平均 93.3



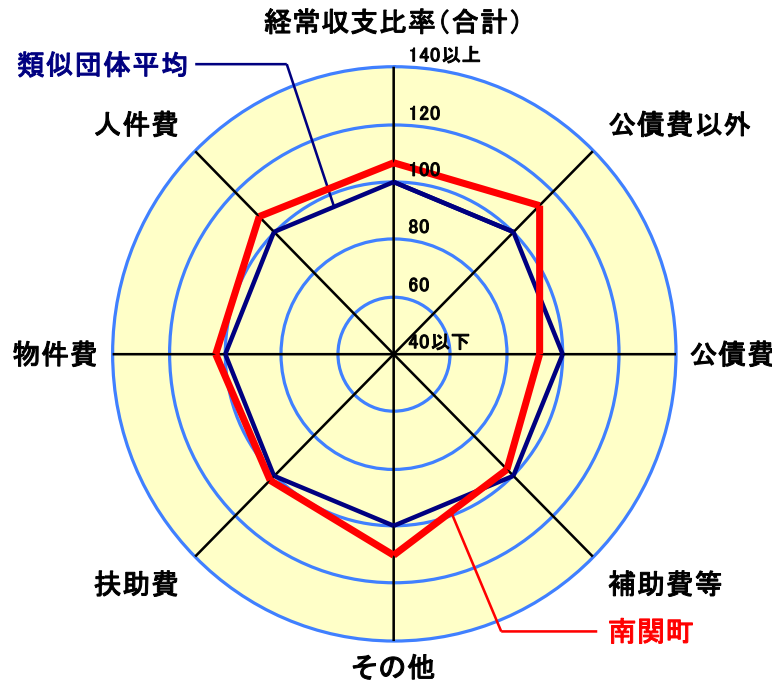
H19類似団体内順位 41/53
全国市町村平均 28.0
熊本県市町村平均 28.1



H19類似団体内順位 35/53
全国市町村平均 13.1
熊本県市町村平均 10.1



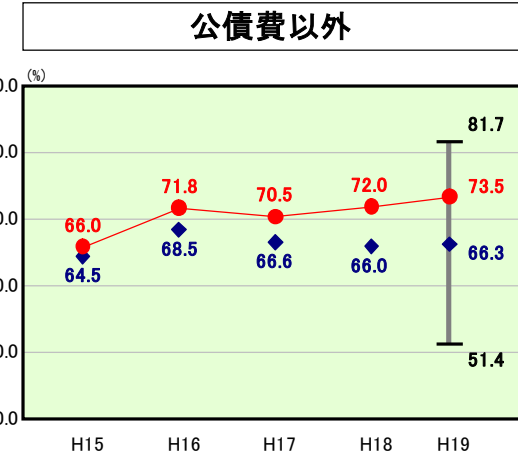
H19類似団体内順位 39/53
全国市町村平均 8.8
熊本県市町村平均 9.4



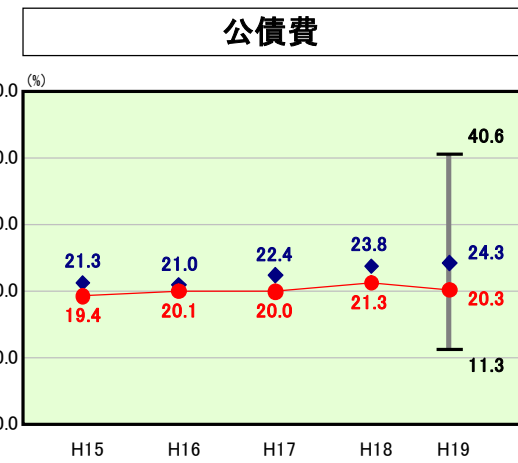
- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

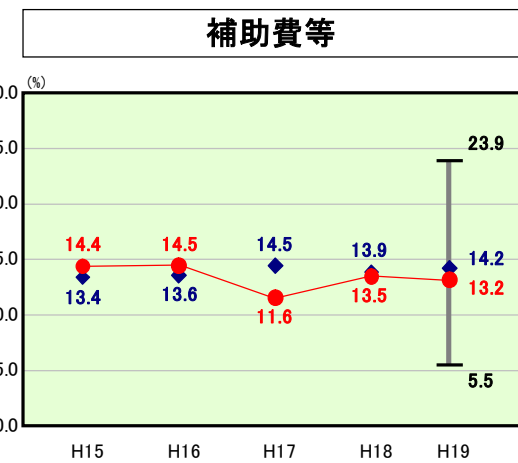
- 人件費
人件費に係るものは、平成19年度において29.7%と類似団体平均値を上回っている。これは、保育所、老人ホームなどの施設運営を直営で行っていることがひとつの要因となっている。現在保育園の民営化を進めるとともに、職員数の削減など行政改革を通じて人件費の削減を推進している。
- 物件費
物件費に係る経常収支比率が類似団体の平均数値を上回っている。物件費の総額は平成17年度に比較して減少しているが交付税等の一般財源が減少しているため上昇傾向となっている。今後は行政改革の取組みのなかで旅費規程、委託料の見直し等を行い物件費の削減を図ることとしている。
- 公債費
平成8～9年度に大型の施設整備事業が集中し、地方債現在高が増加した影響で地方債の元利償還金が膨らんでいるものの、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を4%下回っている。これは、町の計画的な起債発行によるもので、今後も、町の行政改革大綱に沿って普通建設事業を見直し、地方債の発行を抑制し、公債費の削減を図ることとしている。
- その他
その他に係る経常収支比率が類似団体を上回っているのは、繰出金の増加が主な要因である。現在、下水道整備を実施しており、平成14年度に一部供用開始したものの、管渠整備、浄化センター増設等を行っており繰出しが増加傾向にある。今後加入促進を推進し健全財政化を促進していきたい。



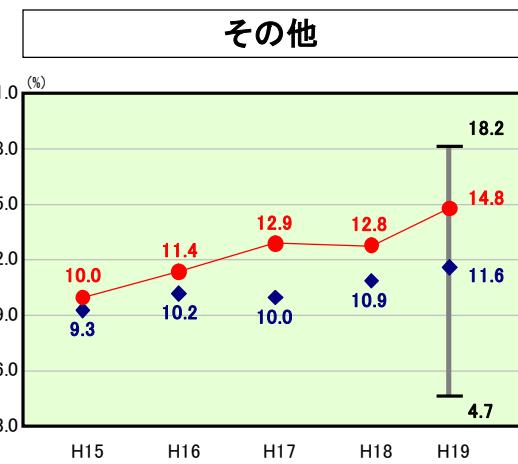
H19類似団体内順位 47/53
全国市町村平均 71.7
熊本県市町村平均 72.3



H19類似団体内順位 10/53
全国市町村平均 20.3
熊本県市町村平均 21.0



H19類似団体内順位 19/53
全国市町村平均 10.4
熊本県市町村平均 11.7



H19類似団体内順位 44/53
全国市町村平均 11.4
熊本県市町村平均 13.0